

手首式デジタル血圧計 OB-1000 取扱説明書

品質保証書



お買い上げいただきましてありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。その後大切に保管し、必要なときにお読みください。

日本精密測器株式会社
本社・工場 〒377-0293 群馬県渋川市中郷 2508-13
TEL 0279-20-2311 (代)
お客様相談室 ☎ 0120-211-164
受付時間 9:00～12:00、13:00～17:00 (土・日・祝祭日を除く)
ホームページ <https://www.nissei-kk.co.jp/>

本品についてのご相談やお問い合わせは、お買い上げの販売店又は弊社お客様相談室へご連絡ください。

ご使用のながれ

1. **安全上のご注意** を読む
 2. 電池を入れる
 3. 血圧計を手首に装着する
 4. 「測定1停止」ボタンを押し血圧を測定する
 5. 「測定1停止」ボタンを押し電源を切る
 6. 血圧計を外す
- 時計設定については、**5. 時計を設定する** を参照してください。保存されている測定結果を確認するには **7. 保存されている結果を確認する** を参照してください。

1. 安全上のご注意

ご使用前に、この【安全上のご注意】をよくお読みいただき、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、本品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。

禁忌・禁止	本品の設計限界又は不正使用など、責任範囲を超える対象及び使用方法。 (誤った取り扱いをすると、死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示します。)
注意	本品の使用にあたっての一般的な注意事項。 (誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性又は物的損害の発生が想定される内容を示します。)

※ 物的損害とは家屋、家財及び家畜、ペットに関わる拡大損害を示します。

禁忌・禁止

<適用対象(患者)>
1) 乳幼児及び小児又は意思表示のできない人には使用しないこと。ケガや事故を起こすおそれがあります。

<併用医療機器>
1) MRI 検査を行う際は本品を検査室に持ち込まないこと。MR 装置への吸着や、火傷などのおそれがあります。
2) 高圧酸素患者治療装置に本品を持ち込まないこと。誤作動や破損、爆発のおそれがあります。

<使用方法>

- 1) 測定結果の自己判断や自己判断による治療はしないこと。必ず医師の指導、指示に従ってください。
- 2) 傷など未治療の腕にカフを巻かないこと。症状を悪化させるおそれがあります。
- 3) 点滴静脈注射や輸血を行っている腕にカフを巻かないこと。ケガや事故を起こすおそれがあります。
- 4) 可燃性ガス及び支燃性ガスの近くでは使用しないこと。発火・引火のおそれがあります。
- 5) 耐用期間を超えて使用しないこと。測定精度を保証できません。本品(消耗品を除く)の耐用期間は5年あるいは30,000回です。「自己認証(自社データ)による」
- 6) 不特定多数の人が対象となる医療機関や公共の場所では使用しないこと。事故やトラブルの原因になります。

注意

【使用上の注意】

- <使用注意>
1) 次の状態や症状又は過去に処置を受けたことのある方は医師に相談のうえ使用すること。正しく測定できないおそれがあります。
・ 妊娠中毒症を含む妊婦 ・ 糖尿病 ・ 肝臓病

- ・ 動脈硬化
- ・ 動脈狭窄
- ・ 乳腺切除した方
- ・ 血管内挿管
- ・ 動静脈(A-V)シャント
- ・ リンパ節の除去

<重要な基本的注意>

- 1) 異常加圧が発生した場合は、「測定1停止」ボタンを押して測定を中止すること。
- 2) 血圧は以下の要因で変動するので注意すること。
 - ・ 時刻や季節
 - ・ 高血圧治療などの薬剤
 - ・ 飲食(アルコールを含む)
 - ・ 喫煙
 - ・ 精神的緊張
 - ・ 入浴
 - ・ 尿意
 - ・ その他の環境(病院での受診中など)
 - ・ 測定姿勢(心臓に対するカフの高さを含む)
- 3) 本品を水や消毒液などに浸さないこと。
- 4) カフの締め付けにより、一過性の内出血が発生し赤みが残る可能性があるため、痛みを感じた場合は「測定1停止」ボタンを押して測定を中止すること。
- 5) 救急搬送中の患者の血圧測定に使用しないこと。
- 6) 必要以上の頻度で測定を行わないこと。
- 7) 血圧測定目的以外には使用しないこと。故障や事故の原因になります。
- 8) 次のような場所では本品を使用しないこと。誤動作や故障の原因になります。
 - ・ 直射日光の当たる場所
 - ・ 温度差の激しい場所や高温多湿な場所
 - ・ ほこりの多い場所
- 9) 落としたり、強い衝撃を与えたりしないこと。誤動作や故障の原因になります。
- 10) 使用前に手首の周囲を測り、測定可能手首周囲の範囲内であることを確認すること。適用範囲外で使用すると、誤差の原因になります。
- 11) 付属品は指定されたものを使用すること。指定外のものを用いると、誤差や故障の原因になります。
- 12) カフは測定部位に正しく装着し、測定中は心臓の高さに保つこと。誤った装着や高さのズレは誤差の原因になります。
- 13) 電池交換などで本品の電池又は電池端子にふれているときは、他の人にふれないこと。
- 14) 種類の違う電池や新しい電池と古い電池を同時に使わないこと。発熱などにより故障の原因になります。
- 15) 分解・修理・改造は行わないこと。誤動作や故障の原因になります。

<相互作用(他の医薬品・医療機器などとの併用に関すること)>

1. 併用禁忌(併用しないこと)

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
MRI 装置	検査室に本品を持ち込まないこと。	誘導起電力により局所的な発熱(磁気共鳴画像診断)による火傷のおそれがあります。
聴覚検査装置	MRI 検査を行うときは、本品を患者から取り外すこと。	また、磁気により本品が吸着されるおそれがあります。
高圧酸素装置	装置内に持ち込まないこと。	誤動作や破損及び経時的な劣化をきたすおそれがあります。また、爆発の誘因となるおそれがあります。

2. 併用注意(併用に注意すること)

- 1) 電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器(ペースメーカー、植込み型除細動器など): 誤動作のおそれがあります。
- 2) カフを巻いた側の腕や手に装着した医療機器: カフの加圧により医療機器の機能に一時的な影響を及ぼすおそれがあります。
- 3) 電気手術器(電気メス): 電気メスの高周波エネルギーにより本品が誤動作する可能性があります。
- 4) 装着形の医用電子機器(心電計等): 誤動作のおそれがあります。
- 5) 電磁波を発生する機器(電子レンジ/電磁調理器等): 誤動作や故障の原因になります。
- 6) 電波を発生する機器(携帯電話/PHSなど)は、本品から30cm以上離して使用すること。誤動作や故障の原因になります。

<不具合・有害事象>

- 1) 不具合
動作不良、故障、破損、誤計測
- 2) 有害事象
痛み、アレルギー反応、血行障害

<妊婦、産婦、授乳婦及び小児などへの適用>

- 1) 妊婦、産婦が使用する場合は、医師に相談のうえ使用すること。
- 2) 乳幼児及び小児又は意思表示のできない人には使用しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

- 1) 次の使用に支障のないよう清潔に保ち湿気の少ない所に保管すること。
保管環境: 温度 -20 ~ 60℃
相対湿度 10 ~ 95% RH (結露なきこと)
- 2) 長期間使用しないときは、電池を取り外すこと。電池の液もれが起これば、本品を傷める原因になります。
- 3) 耐用期間: 5年あるいは30,000回(消耗品を除く)
[自己認証(自社データ)による]
- 4) 本品には電池や小さな部品が含まれているので、小児だけで使用させたり、乳幼児やペットの届く所に保管したりしないこと。ケガや誤飲のおそれがあります。

【保守・点検に係る事項】

- 1) 使用後は汚れがないか確認すること。
- 2) 本品の表面の汚れは、ぬるま湯や石けん水を含ませた布でよく拭き取り、乾いた柔らかい布で乾拭きすること。
- 3) カフの汚れは中性洗剤を使い、表面をやさしく拭きたいと落とすこと。
- 4) 洗濯機を使用したりこすったりしないこと。
- 5) ベンジン、シンナー、ガソリンなどの溶剤は使用しないこと。本品を傷める原因になります。
- 6) 動かなくなったり、異常が発生したりした場合は、直ちに使用を中止すること。点検・修理をお申し付けください。
- 7) 本品及び使用済みの電池を廃棄する場合は、各自自治体の規則に従い適切に処分すること。

2. 正しく測定するために

● 朝と夜、測定する時刻を決める

起床後と就寝前が1日の内で最も血圧が安定すると言われています。朝は、起床後1時間以内で食事の前に、夜は、食事の後1時間以上間をあけて測定します。

日本高血圧学会のガイドラインでは、家庭で血圧を測定する場合は、朝と夜の1日2回の測定を行うことになっており、朝・夜とも2回測って、その平均の血圧値をとることになっています。

● 測定する手首(左手首/右手首)を決める

左右の手首で血圧値が異なることがあります。家庭で測定するときはいつも決めた手首で測定します。

● 同じ環境、静かな場所で測定する

血圧は周囲の音や動きにも影響を受けます。また、寒いと血圧は高くなります。20℃くらいの室温が血圧測定に適しています。

● リラックスして測定する

緊張したり、心が動揺したりしていると血圧は高くなります。深呼吸を数回して5分くらい安静してから測定します。

● 測定中は動かない

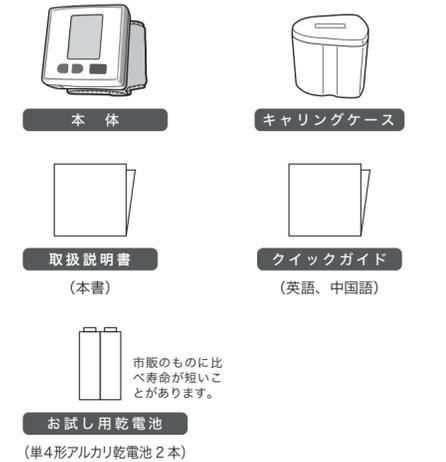
話をしたり、体を動かしたりすると血圧は変化します。また、本品は血圧測定方法にオンロメトリック法を採用しています。オンロメトリック法はかすかな脈動変化をとらえて血圧を測定します。このため、測定中に話をしたり、腕や体を動かしたりすると正しい測定結果となりません。

● ポイント

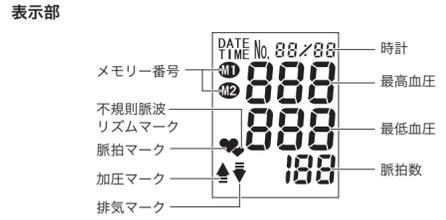
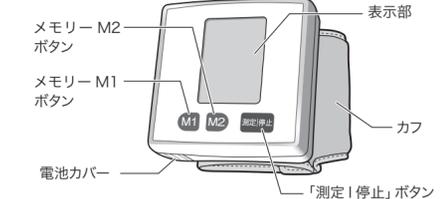
尿意があるときはトイレに行ってから測定する。
喫煙直後に測定しない。
運動直後、入浴直後は測定しない。

3. 次のものが揃っていますか？

次のものが揃っていることをご確認ください。不足しているものがあるときは、お買い上げの販売店又は弊社お客様相談室(☎0120-211-164)までご連絡ください。



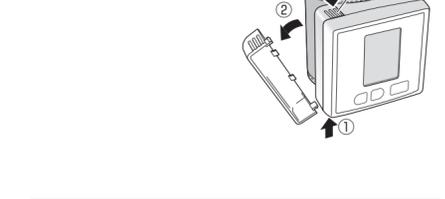
本体各部の名称



4. 電池を入れる

1 電池カバーを外す

電池カバーの側面を①押しながら②矢印の方向に外します。



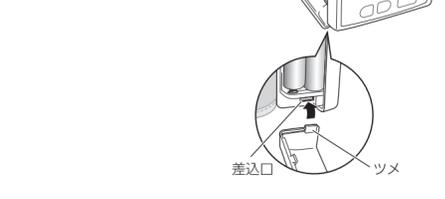
2 電池を入れる

向きに注意し、単4形アルカリ乾電池を2本入れてください。(一)側をパネに押し付けると簡単に入ります。



3 電池カバーを閉める

片側のツメを差し込んでから矢印の方向に電池カバーを閉めてください。無理に閉めるとツメが破損することがあります。



電池について

- ◆ 充電電池は使用しないでください。規格や特性が異なるため、充電電池での使用を保証していません。
- ◆ 本品を長期間使用しないときは、電池を取り出してください。電池を長期間入れたままにすると電池の液もれが起これ、本品を傷める原因になります。
- ◆ 電池残量が少なくなると**電池交換マーク**()が点滅します。電池交換マークが点滅表示から点灯表示になるとボタン操作を行うことはできません。2本の電池を新しい電池と交換してください。違う種類の電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使用すると電池が発熱し、故障の原因になります。

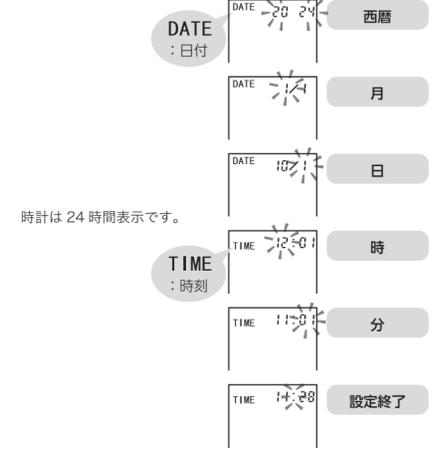
5. 時計を設定する

電池を挿入すると表示部に【西暦】が点滅します。



1 時計を合わせます。

時計の設定は、【西暦】、【月】、【日】、【時】、【分】の順に行います。メモリー M1 ボタンを押すと数値が進み、メモリー M2 ボタンを押すと数値が戻ります。数値を合わせたら「測定1停止」ボタンを押してください。次の項目へ移ります。



時計は24時間表示です。

- ◆ 表示される西暦は製造年により異なります。
- ◆ 時計設定をやりなおすときは、一度電池を取り出していただき、表示部に何も表示されていないことを確認してから電池を入れると【西暦】が点滅します。
- ◆ 時計の表示は、血圧計の電源が切れていることを示します。
- ◆ 電池を取り外すと時刻が初期値に戻り、時計機能は無効になります。(日付は電池を取り外したときの日付のままです。)電池交換時など電池を取り外した後は、再度設定を行い時計機能を有効にしてください。

6. 血圧を測定する

1 カフを手首に巻く

血圧計の表示部が手のひら側にくるようにカフを手首に巻きます。カフを手のひらと手首の境目から5~10mm離れた所に合わせます。カフと素肌にすき間ができないようにぴったりと巻いてください。



2 正しい姿勢をとる

足を踏まずに両足を床に置いた状態で椅子に座り、背もたれを使用しリラクセスしてください。

手のひらを上に向け軽く上げ、ひじを机や台の上にせます。

腕の下にタオルなどを置いて、カフが心臓と同じ高さになるようにしてください。



- ◆ **テーブルが無いときは**
椅子に座り、腕を軽く胸にあてカフが心臓の高さと同じ位置になるように合わせてください。測定中は腕を軽く支えてください。
- ◆ **横になって測定するときは**
仰向けになり、タオルなどを使いカフが心臓の高さと同じ位置になるように合わせてください。



アフターサービス

アフターサービスのお問い合わせは、お買い上げの販売店、若しくは日本精密測器株式会社へご連絡ください。

保証規定

- (1) 有効保証期間はご購入後1年間です。
- (2) 取扱説明書に従った正常なご使用状態で、万一故障した場合は、無料で修理をいたします。
- (3) 保証期間内に無料修理を受けられるときは、商品に保証書を添えて、ご購入いただいた販売店又は弊社までお持ちください。修理品を弊社にて直接送付される際の送料は、お客様ご自身でご負担ください。
- (4) 保証書の再発行はいたしませんので大切に保管してください。
- (5) 保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- (6) 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
 - イ. 誤った使用や、不注意による故障又は損傷。
 - ロ. 保管上の不備によるもの、及びご使用者の責に帰すと認められる故障又は損傷。
 - ハ. 不当な修理や改造による故障又は損傷。
 - ニ. 火災、地震、水害、異常電圧、指定外の使用電源及びその他の天災地変や衝撃などによる故障又は損傷。
 - ホ. 一般家庭以外でのご使用による故障又は損傷。
 - ヘ. 保証書の提示がない場合。
 - ト. 保証書に販売店、ご購入日などの記載の不備がある場合、あるいは内容を書き替えられた場合。
 - チ. ご使用後の外装面の傷、破損、及び外装部品、消耗部品の交換。

品質保証書

この度は、本品をお買い上げいただき誠にありがとうございました。本品は、高度な技術と徹底した生産管理そして厳重な品質検査を経てつくられた製品ですが、通常のご利用において万一不具合が発生したときは、保証規定により修理及び調整をいたします。

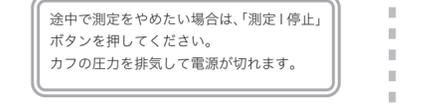
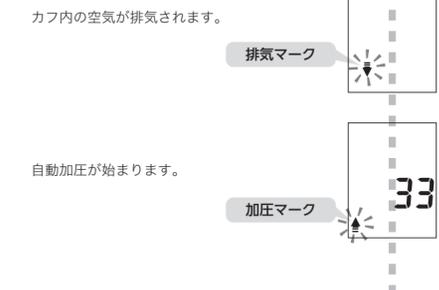
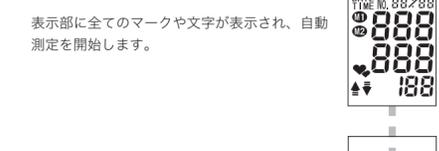
本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

型式	: OB-1000	製造番号:	
お名前:		TEL:	
ご住所:			
販売店名	販売店にて記入捺印していただく、販売店が発行されたお買い上げが証明できるシールなどを貼り付けてください。		
ご購入年月日 年 月 日			

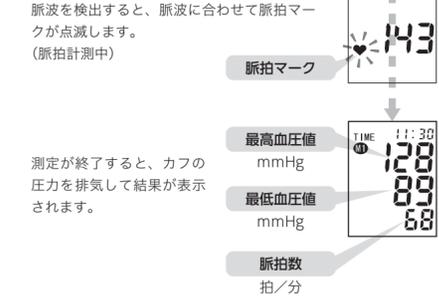
製造販売業者
日本精密測器株式会社
〒377-0293 群馬県渋川市中郷 2508-13

3 測定を開始する

電源が切れた状態で、「測定1停止」ボタンを押してください。



圧力（表示値）が190mmHgまで上がると加圧が止まり、その後圧力が減少します。

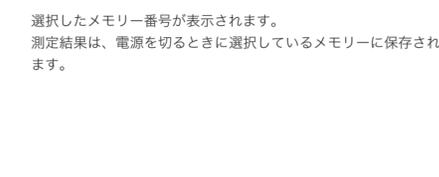


測定が終了すると、カフの圧力を排気して結果が表示されます。

表示	説明
	脈波を検出すると点滅します。
	測定中に検出した脈波の間隔が一定でなかったときに表示します。 規則的な脈波のリズム
	安静状態で測定をしても常に不規則脈波リズムマークが表示される場合もあります。ただし、そのようなときでも、ご自分で判断はせずに、医師にご相談ください。
	測定エラーを表します。 10. 困ったと思ったら を参照してください。

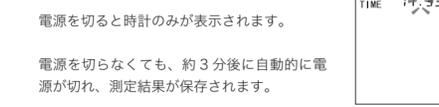
4 結果を保存するメモリーを選ぶ

M1に保存する場合はメモリーM1ボタンを押し、M2に保存する場合はメモリーM2ボタンを押してください。

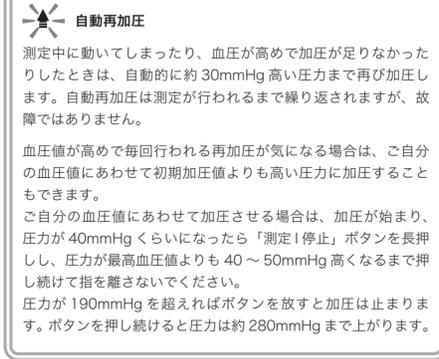


5 「測定1停止」ボタンを押して電源を切る

「測定1停止」ボタンを押して電源を切ってください。



電源を切らなくても、約3分後に自動的に電源が切れ、測定結果が保存されます。



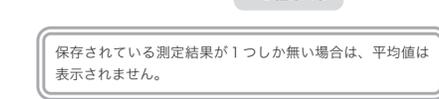
血圧値が高めで毎回行われる再加圧が気になる場合は、ご自分の血圧値にあわせて初期加圧値よりも高い圧力に加圧することもできます。

ご自分の血圧値にあわせて加圧させる場合は、加圧が始まり、圧力が40mmHgくらいになったら「測定1停止」ボタンを長押しし、圧力が最高血圧値よりも40～50mmHg高くなるまで押し続けて指を離さないでください。

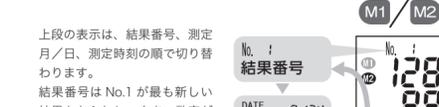
圧力が190mmHgを超えればボタンを放すと加圧は止まります。ボタンを押し続けると圧力は約280mmHgまで上がります。

7. 保存されている結果を確認する

本品には、M1とM2の2つのメモリー（測定結果の保存場所）があり、それぞれ30回分の測定結果を保存できます。測定結果数が30回分になると、次の測定結果を保存するときに最も古い測定結果が消去されます。

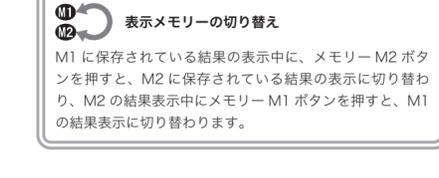


ボタンを押したメモリーに保存されている測定結果の平均値が表示されます。

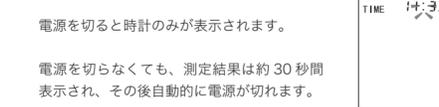


上段の表示は、結果番号、測定月/日、測定時刻の順で切り替わります。結果番号はNo.1が最も新しい結果をあらわし、大きい数字が古い結果をあらわします。

メモリーボタンを押すことに測定結果をさかのぼって表示します。



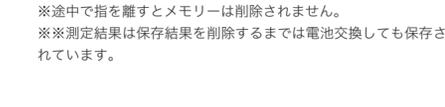
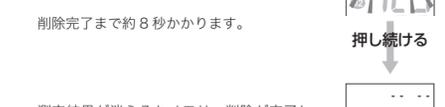
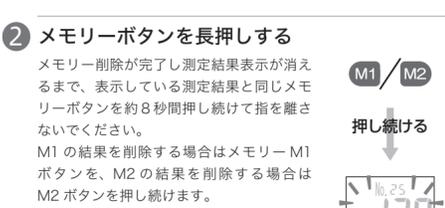
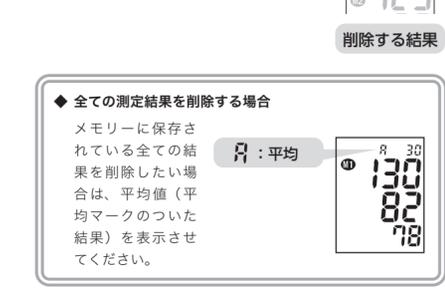
「測定1停止」ボタンを押して電源を切ってください。



電源を切らなくても、測定結果は約30秒間表示され、その後自動的に電源が切れます。

8. 保存されている結果を削除する

1 測定結果を表示させる
電源が切れた状態でメモリーM1ボタン又はM2ボタンを押して削除したい測定結果を表示させてください。



※途中で指を離すとメモリーは削除されません。 ※※測定結果は保存結果を削除するまでは電池交換しても保存されています。

9. 知っておきましょう

最高血圧（収縮期血圧）	最低血圧（拡張期血圧）
心臓が血液を送り出すために、心臓の筋肉を収縮させたときの圧力	心臓の筋肉が最も広がったときの圧力

● **血圧は常に変化しています**
血圧は心身のいろいろな条件などで変化し、常に一定とは限りません。

以下の要因で血圧は変動します。
・時刻や季節
・飲食（アルコールを含む）
・精神的緊張
・会話
・測定姿勢（心臓に対するカフの高さを含む）
安静状態でどの血圧値を正確につかむためには、1～2分の休憩を入れながら複数回測定することをお勧めします。
・高血圧治療などの薬剂
・喫煙
・身体活動
・入浴
・尿意
・その他の環境（病院での受診中など）

● **手首の血圧について**
手首の血圧は、上腕の血圧値と多少の差があります。これは測定部位の違いによるためですが、安静にした状態でカフの位置を心臓と同じ高さにして測定した場合は、上腕の血圧値と近似し、また、上腕の血圧の変化もよく反映しています。高血圧症、糖尿病、動脈硬化症、肝臓病などで末梢循環器障害のある方は、上腕の血圧値と差が大きくなる場合があります。

● **血圧はいつ測定すればよいか**
起床後と就寝前が1日の内で最も血圧が安定すると言われていいます。これを目安に毎日時間を決めてリラックスした状態で測定することをお勧めします。

● **高血圧とは**
日本高血圧学会では血圧を下の表のように分類しています。しかし、血圧値は人種、地域、性別、年齢によってかなりの差がみられ、人により目標値も異なります。測定結果はご自分で判断せず必ず医師の指導を受けてください。

分類	診察室血圧		家庭内血圧	
	収縮期血圧（最高血圧）	拡張期血圧（最低血圧）	収縮期血圧（最高血圧）	拡張期血圧（最低血圧）
正常血圧	<120	かつ <80	<115	かつ <75
正常高値血圧	120～129	かつ <80	115～124	かつ <75
高値血圧	130～139	かつ又は 80～89	125～134	かつ又は 75～84
I度高血圧	140～159	かつ又は 90～99	135～144	かつ又は 85～89
II度高血圧	160～179	かつ又は 100～109	145～159	かつ又は 90～99
III度高血圧（孤立性）	≥180	かつ又は ≥110	≥160	かつ又は ≥100
収縮期高血圧	≥140	かつ <90	≥135	かつ <85

日本高血圧学会「高血圧治療ガイドライン2019」

● **日本人の血圧の状況**
高齢になるほど、高血圧の割合が多くなる傾向がみられます。

年齢(歳)	20～29		30～39		40～49		50～59		60～69		70以上	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
至適血圧	69.6	84.9	56.3	83.5	30.1	63.8	23.9	39.3	13.5	20.6	12.8	15.3
正常血圧	10.7	13.2	31.3	11.6	22.0	16.7	20.9	23.9	21.4	27.6	22.9	22.3
正常高値血圧	12.5	1.9	6.3	1.7	17.1	10.4	16.4	17.1	25.9	22.0	27.8	19.5
高血圧	7.2	0	6.1	3.2	30.8	9.1	38.8	19.7	39.2	29.8	36.5	42.9

年齢別血圧の状況（厚生労働省 令和元年国民健康・栄養調査報告による）

● **脈拍数について**
脈拍数は、健康状態を知るうえで非常に大切な値です。一般に成人の脈拍数は、椅子に掛けた安静状態で60～80拍/分が正常値とされていますが、体調が悪かったり、疲労が蓄積していたりすると、10～20拍/分多くなることがあります。自分の安静脈拍数を知り、その日の脈拍数と比較することで、健康状態の変化を見分けるための目安となります。

10. 困ったと思ったら

こんなとき	原因	対処方法
血圧が異常に高く又は低く表示される。	カフを心臓の高さにあわせて測定していない。	測定中はカフを心臓の高さに合わせてください。
	カフが正しく巻かれていない。	カフの巻き方を確認してください。
	衣服の上からカフを巻いている。	カフは直接素肌に巻いてください。
測定値がいつも異なる。	測定中に動いたり、話をしたりした。	測定中は動いたり、話をしたりしないでください。
	心身状態や測定状態が血圧に影響を与えている。	同じ条件のもとで測定してください。
病院での測定と値が異なる。	病院での緊張感、ご家庭でのリラックス感などの精神状態が血圧に影響を与えている。	ご家庭で測定した血圧は、記録をつけ、医師の指導や診断をお受けください。
	電源が供給されていない。	電池を挿入してください。
何も表示されない。（測定が開始しない）	電池が消耗している。	2本とも新しい電池と交換してください。
	電池の向きが誤っている。	電池を正しく入れ直してください。
	電極（電池接続部）が汚れている。	乾いた布できれいにしてください。
加圧が繰り返される。	初期加圧値が測定に不十分であった。	再加圧は故障ではありません。
	測定中に動いたり、話をしたりした。	測定中は動いたり、話をしたりしないでください。
300が表示された。	測定中に手や腕を動かしたり、話をしたりしたため最大圧力まで加圧された。	測定中は動いたり、話をしたりしないでください。
	測定中に動いたり、話をしたりした。	測定中は動いたり、話をしたりしないでください。
1が表示された。	測定結果が測定範囲外だった。	毎回表示される場合は、医師にご相談ください。

2が表示された。	カフが正しく巻かれていない。	カフを正しく巻き直してください。
	カフが破損している。	カフを巻き直しても常にこのエラーが表示される場合は、点検・修理をお申し付けください。
3が表示された。	測定中に手や腕を動かしたり、話をしたりした。	測定中は動いたり話をしたりしないでください。
	電池を取り付けする際に「測定1停止」ボタンが押されてしまった。	「測定1停止」ボタンを押して、一度電源を切ってください。
が表示された。	電池が消耗している。	2本とも新しい電池と交換してください。

以上の方法でも、測定が正常にできないときは、お買い上げの販売店又は弊社お客様相談室（☎0120-211-164）までご連絡ください。

11. お手入れと保管のお願い

血圧計の性能は使用した回数、使用・保管方法、年数に影響を受けて劣化します。本品の耐用期間は5年あるいは30,000回です。「自己認証（自社データ）」による」

◆ **本品のお手入れ**
使用後は汚れなどがないか確認してください。本品の表面の汚れは、ぬるま湯や石けん水を含ませた布でよく拭き取り、乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。本書に指定のない薬液や溶剤などを使用しないでください。本品を傷める原因になります。カフの汚れは中性洗剤を使い、表面をやさしくたたいて落としてください。洗濯機を使用したりこすったりしないでください。カフの汚れがひどく衛生上問題がある場合は、弊社又はお買い上げの販売店へ交換をお申し付けください。（有料）

◆ **本品の保管**
保管の際にキャリングケースを使用すると、本品を保護することができます。長期使用しないときは、電池を取り出して保管してください。電池を入れたままにすると電池の液もれが起こり本品を傷める原因になります。上には重いものをのせないでください。次のような場所に保管、又は長時間放置しないでください。故障、劣化の原因になります。
・直射日光の当たる場所
・温度差の激しい場所や高温多湿な場所
・ほこりの多い場所
・防虫剤の入ったタンス等

◆ **本品の取り扱い**
落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。電池の取り外しは、必ず血圧計の電源を切ってから行ってください。故障の原因になります。カフを伸ばしたり曲げたりしないでください。また、ナイフや先のとがったもので切ったり、突いたりしないでください。カフを手首に巻いていないときは加圧させないでください。変形や故障の原因になります。

本品の分解・修理・改造はしないでください。故障の原因になります。気温40℃以上又は10℃以下の環境に本品を保管した場合は、使用環境範囲内の気温に2時間以上保管後に測定を行ってください。誤動作の原因になります。

12. 本品について

作用原理
動脈が圧迫帯（カフ）の圧力で圧迫されると、動脈が心拍に合わせて脈動を起こし、それがカフ内圧力上の脈動となります。この脈動の大きさは、血圧とカフ圧力との大小関係に応じて変化します。オシロメトリック式の血圧計は、カフ内圧力を徐々に変化させたときに見られる、この脈動の大きさの変化パターンをもとに最高血圧及び最低血圧を決定します。

13. 製品仕様

販売名	デジタル血圧計 OB-1000
本体サイズ	約 縦70×横70×厚み31mm（カフ部を除く）
本体質量	約118g（乾電池を除く）

医療機器認証番号	305AGBZX00079000
測定方法	オシロメトリック法
圧力表示範囲	3～300mmHg（カフ圧力）
血圧測定範囲	50～250mmHg（最高血圧） 40～180mmHg（最低血圧）
脈拍測定範囲	40～160拍/分
最大圧力	300mmHg
環境条件による圧力表示誤差	150mmHgを超えない場合は±3mmHg以下、150mmHgを超える場合は測定値の2%以下
臨床性能試験による血圧測定の誤差※1	聴診に対する平均誤差 ±5mmHg以内 標準偏差 8mmHg以内
脈拍測定精度	±5%以内
停止操作	スイッチを切った後30秒以内に15mmHgまで減圧
血圧測定の再現性	血圧判定の再現性は3.0mmHg（0.4kPa）以下
加圧	自動（エアポンプ）
減圧	自動（電子制御弁）
排気	自動急速排気
電源	単4形アルカリ乾電池2本
電気的定格	DC3V/2W
メモリー	2つのメモリーにそれぞれ30回分の測定結果と平均値
使用環境	温度：10～40℃ 相対湿度：15～85%RH（結露なきこと） 気圧：700～1060hPa
輸送・保管環境	温度：-20～60℃ 相対湿度：10～95%RH（結露なきこと）
測定可能手首周囲	約12.5～21.5cm
電撃保護	内部電源機器、BF形装着部（カフ）
外来固形物及び水の有害な浸入に対する保護の程度による分類	IP22 指による危険な部品への接触に対する保護 直径12.5mm以上の外来固形物に対する保護 垂直より左右15°以内から落下する水滴に対する保護
空気・可燃性麻酔ガス、又は酸素又は亜酸化窒素・可燃性麻酔ガス中での使用に適用しない機器	空気・可燃性麻酔ガス、又は酸素又は亜酸化窒素・可燃性麻酔ガス中での使用に適用しない機器
作動（運転）モードによる分類	連続作動（運転）機器

：BF形装着部

：付属文書をお読みください

：UDI：機器固有識別子※2

※1 試験方法は、ISO（国際標準化機構）81060-2:2013の要求に基づく

※2 医療機器を識別するために機器本体、ラベル、パッケージに表示されるコード

お断りなく仕様変更場合がありますのでご了承ください。

14. 技術サポート

本品は、医用電気機器の安全使用のために要求されているEMD（電磁妨害）規格、IEC60601-1-2:2014+A1:2020に適合している装置です。医用電気機器は、電磁妨害に関する特別な注意が必要であり、以下の情報に従って使用される必要があります。

・本品は、高周波手術機器やMRI装置（磁気共鳴画像装置）の近傍など、電磁妨害の強さが高い環境での使用を意図していません。

・本品を、他の機器に隣接させて、又は積み重ねて使用しないでください。不適切な動作の原因になります。

・本品の製造者によって規定されているか、又は提供されるもの以外の付属品を使用すると、本品の電磁エミッションが増加するか、又は電磁イミュニティが減少し、不適切な動作の原因になる可能性があります。

・本品の性能低下の原因になる可能性があるため、携帯型のRF通信機器（アンテナケーブル及び外部アンテナなどの周辺機器を含む）は、本品のどの様な部分からも30cm以上離して使用してください。

IEC60601-1-2の詳細については、当社のホームページのお問い合わせフォーム又は販売店にお問い合わせください。